



# 八戸市スポーツ推進計画



平成31年3月  
八戸市

# 計画策定に当たって

## ○ 計画策定の背景

本市では、「第6次八戸市総合計画」において、「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」を目指すべき姿とし、その実現に向けて総合的に取り組むべき政策の1つとして「文化・スポーツ・観光」を掲げています。その中で、「スポーツ活動の促進」「競技力の向上」「地域スポーツの活性化」「氷都八戸の再生」を施策・事業の柱とし、「長根屋内スケート場」の整備、「大学等と連携したスポーツ教室の開催、指導者の育成」「地元プロスポーツチームとの交流イベント・応援体制の構築」など、様々なスポーツ施策の推進を図っているところです。

なお、国では、平成23年6月に「スポーツ基本法」を制定し、スポーツに関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務を明確にしており、これに基づき、青森県では、「青森県スポーツ推進計画」（平成28～33年度）を策定しています。

本計画は、これら国・県の動向及び本市がこれまで実施してきたスポーツ施策と現在の本市のスポーツを取り巻く環境変化を踏まえ、子どもから高齢者・障がい者、また、普段スポーツをあまりしない人・する人といったあらゆる市民が、様々な形でスポーツに関わることにより、健康で、生きがいを感じることができるよう施策を効果的かつ効率的に推進するための「スポーツ版マスタープラン」として策定するものです。

本計画では、ルールが決められ、勝敗や記録を競う競技スポーツだけではなく、気軽に楽しめるアウトドア体験や散歩など、気晴らしをする、楽しむ、遊ぶなどの様々な目的を持った運動の全てをスポーツとして捉え、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といろいろな形で、誰もが気軽に楽しめるものとして扱います

## ○ 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に規定する「地方スポーツ推進計画」であり、国の「スポーツ基本計画」、県の「青森県スポーツ推進計画」との連携、整合を図って策定します。また、平成27年9月に策定した「第6次八戸市総合計画」の基本方針を踏まえ、同計画とともに本市の将来像である「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」の実現を目指すものです。

## ○ 計画期間

本計画の期間は2019年度から2028年度までの10年間とします。

ただし、上位計画である「第6次八戸市総合計画」の計画期間終了に伴う次期計画策定において、当該計画における役割が大きく見直されることとなった場合、若しくは、同時期に実施する事業進捗の確認やモニタリングの実施において、本計画に定める目標と実績とに大きな乖離がある場合には、本計画の見直しを行うものとします。

また、計画期間終了時においては、計画期間全体の施策・事業の進捗確認及び効果検証し、それらを踏まえて次期計画を策定します。

### 計画期間 2019～2028年度《10年間》

年度（西暦）	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
スポーツ関連イベント		※1	※2	ワールド マスターズ ゲームズ 2021関西	北京冬季 オリンピック ・パラリン ピック			第80回 国民スポ ーツ大会 (青森県)				
青森県スポーツ推進計画	青森県スポーツ推進計画 (2016～2021)					※1 2019年度スポーツ関連イベント ・ラグビーワールドカップ ・第75回国民体育大会冬季大会 (八戸市・三沢市・南部町)						
第6次八戸市総合計画	第6次八戸市総合計画 (2016～2020)											
第3期八戸市地域福祉計画	八戸市地域福祉計画 (2016～2020)					※2 2020年度スポーツ関連イベント ・東京オリンピック・パラリンピック ・ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会						
第2次健康はちのへ21	第2次健康はちのへ21 (2013～2022)											
八戸市復興計画	八戸市復興計画 (2011～2020)											
八戸市まち・ひと・しごと 創生総合戦略	創生総合戦略 (2015～2019)											
八戸圏域連携中枢都市圏 ビジョン	八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン (2017～2021)											
第3期八戸市中心市街地 活性化基本計画	第3期八戸市中心市街地活性化基本計画 (2018～2023)											
八戸市体育施設整備に 関する基本方針	八戸市体育施設整備に関する基本方針 2019.03～											
第2期八戸市教育振興基 本計画	第2期八戸市教育振興基本計画 (2018～2023)											
年度（西暦）	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
本計画	計画策定	八戸市スポーツ推進計画 (2019～2028)										次期計画
							計画見直し・改定					
							計画に位置つけた事業の実施					
							事業の継続・見直し					
							事業改善					
					効果検証							
指標別各種調査の実施（調査によって毎年実施、隔年実施）												

■ ゴールデンスポーツイヤーズ（ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021 関西）

# 計画の基本方針と目標

## ○ 本計画の基本方針

### 基本方針

#### 誰もがスポーツを「楽しみたくなる街」の実現と「氷都八戸」の新生

～一年を通じてスポーツを「したくなる」「みたくなる」「ささえたくなる」多様なスポーツ文化の推進と創造～

国の第2期スポーツ基本計画では、中長期的なスポーツ施策の基本方針を  
～ スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～  
とし、①「人生」が変わる！ ②「社会」を変えよう！ ③「世界」とつながる！  
④「未来」を創る！ という4つのスポーツの価値を示し、「一億総スポーツ社会」  
の実現に取り組むことを促進しています。

本市においては、

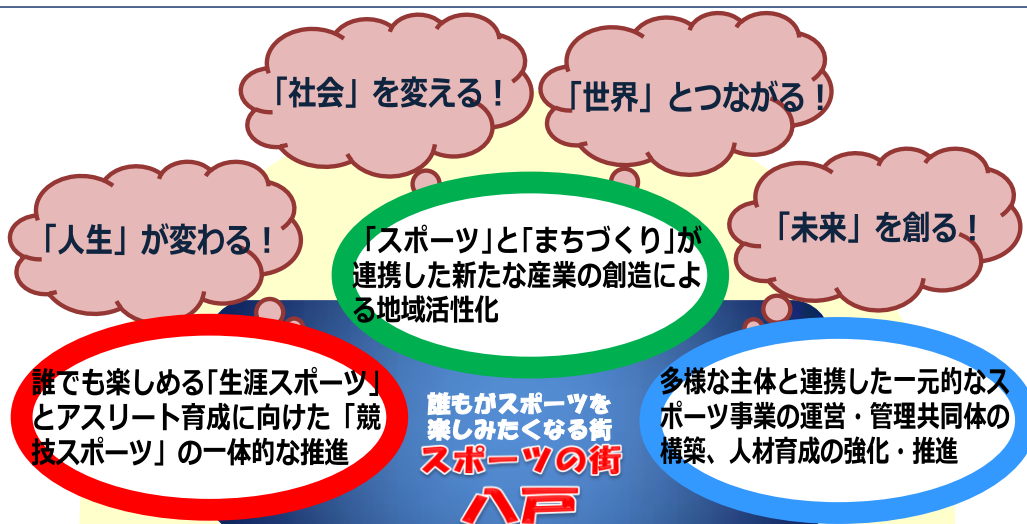
「人生」が変わる！  
「社会」を変えよう！  
「世界」とつながる！  
「未来」を創る！



#### 八戸市の基本目標

- I 誰でも楽しめる「生涯スポーツ」とアスリート育成に向けた「競技スポーツ」の一体的な推進
- II 「スポーツ」と「まちづくり」が連携した新たな産業の創造による地域活性化
- III 多様な主体と連携した一元的なスポーツ事業の運営・管理共同体の構築、人材育成の強化・推進

以上の3つの基本目標を掲げ、氷都八戸を標榜するスケート競技をはじめとして、1年を通じて多様なスポーツに触れることのできる環境を活かし、市民全員が、「する」、「みる」、「ささえる」いずれかの形でスポーツに関わることで、一人ひとりがそれぞれの目的や価値観でスポーツの価値を実感して輝き、活力のある絆の強いまちとなるよう、この基本方針の下、誰もがスポーツを「したくなる」、「みたくなる」、「ささえたくなる」施策を推進します。



## ○ スポーツ推進の基本目標

### 基本目標Ⅰ

#### 誰でも楽しめる「生涯スポーツ」とアスリート育成に向けた 「競技スポーツ」の一体的な推進

#### 施策の方向性

市民のスポーツに対するニーズが多様化する中で、市民の誰もが生涯に渡ってスポーツに親しむことができ、健康で元気に暮らせる環境づくりをします。

また、それに合わせて、トップアスリートを輩出している競技環境、新たに整備される施設やプロスポーツチームをはじめとした、トップレベルのスポーツに触れられる機会など、本市にある資源を活用して競技力向上を図ります。

そのためにも、実際にスポーツをする場の確保にも取り組みます。

#### 目標達成のための施策

施策Ⅰ－１：子どものスポーツ機会の充実と体力向上

施策Ⅰ－２：学生・社会人・高齢者それぞれのライフスタイル・ニーズに対応したスポーツ活動の推進

施策Ⅰ－３：スポーツ関係団体、プロスポーツチーム、大学との連携による様々なスポーツを体験できるスポーツ機会の提供

施策Ⅰ－４：トップアスリートを輩出している競技や新たなスポーツ施設・環境を生かしたスポーツ競技力の向上

施策Ⅰ－５：トップアスリートとの交流、トップレベルの競技大会への派遣支援

施策Ⅰ－６：体育施設整備基本方針に基づくスポーツ施設の維持管理などによる活動場所の確保



■ヴァンラーレ八戸によるサッカー教室の開催（八戸市立南郷小学校）  
／出典：八戸市



■長野五輪銅メダル岡崎朋美さんを招いてのスケート教室／出典：八戸市

## 基本目標Ⅱ

# 「スポーツ」と「まちづくり」が連携した新たな産業の創造による 地域活性化

### 施策の方向性

本市では、長根屋内スケート場やフラットアリーナが完成予定であることから、これらを活用した大会誘致・イベント開催等を行うことで、市民がスポーツを「みる」機会を創出します。

また、複数のプロスポーツチームが本市を拠点として活動しており、チームの活躍によって地域に活力が生まれていることから、より多くの市民の興味・関心を高めることで更なる活力を創出するよう、地域一体となったホームタウンづくりを推進します。

さらには、うみねこマラソン、国民体育大会などの全国規模の大会等、市内外から多くの参加者・観戦者が集まるイベントがあることから、これらを活用した誘客を推進するとともに、スポーツに観光を掛け合わせたスポーツツーリズムにも取り組みます。

### 目標達成のための施策

施策Ⅱ-1：スポーツ施設の新設に合わせた継続的な競技大会・イベントの開催

施策Ⅱ-2：地域一丸となったスポーツへの興味・関心を高めるための環境づくり

施策Ⅱ-3：産業とプロスポーツチームの連携による、地域産業・地場産品等PRの展開

施策Ⅱ-4：スポーツ体験・観戦を活用したスポーツツーリズムの推進



■長根屋内スケート場での大会開催イメージ  
／出典：八戸市



■フラットアリーナでの興行開催イメージ  
／出典：クロススポーツマーケティング株式会社

## 基本目標Ⅲ

### 多様な主体と連携した一元的なスポーツ事業の 運営・管理共同体の構築、人材育成の強化・推進

#### 施策の方向性

本市で新たに完成予定のスポーツ施設や、従来から合宿利用が多いアイスホッケーリンクを活用した継続的な大会・合宿等の誘致を推進します。

また、競技団体、地区体育振興会などの地元団体や、指導者、誘致イベント開催時の運営スタッフとなるボランティアなどの本市のスポーツを「ささえる」人材・環境を強化します。

なお、特に指導者等の人材の確保に当たっては、教育委員会と連携して小学校スポーツ活動や中学校運動部活動の動向を踏まえるとともに、アスリートのセカンドキャリアを活用するための仕組みづくりに取り組みます。

さらに、これらをより効果的に推進するため、市をはじめ、スポーツ関係団体、産業経済団体、教育機関等、様々な機関と連携し、スポーツ事業を一元的に行う「地域スポーツコミッション」の設立に取り組みます。

#### 目標達成のための施策

施策Ⅲ－１：本市のスポーツ施設・環境の特性を活用した大会・合宿の誘致

施策Ⅲ－２：大会・合宿時の会場、宿泊、観光等のワンストップ窓口の管理・運営の推進

施策Ⅲ－３：地域スポーツを「ささえる」人材・環境の強化



■地域スポーツの窓口と責任体制のワンストップ化／出典：スポーツ庁

## 指標と目標値

**基本目標Ⅰ**：誰でも楽しめる「生涯スポーツ」とアスリート育成に向けた「競技スポーツ」の一体的な推進

指標	目標値（2023年度）
指標1：自主的にスポーツをする時間を持ちたいと思う中学生の割合	80%
指標2：中高年及び高齢者の運動常習者の割合	60%
指標3：市又は指定管理者主催のスポーツ教室開催数	700回
指標4：スポーツ各賞受賞者数	20人
指標5：施設利用者数	1,300,000人

**基本目標Ⅱ**：「スポーツ」と「まちづくり」が連携した新たな産業の創造による地域活性化

指標	目標値（2023年度）
指標6：市民の会場でのスポーツ観戦率（年1回以上）	26.8%
指標7：長根屋内スケート場の利用者数	314,399人
指標8：市内プロスポーツチームのホームゲーム来場者数（1試合平均）	1,800人

**基本目標Ⅲ**：多様な主体と連携した一元的なスポーツ事業の運営・管理共同体の構築、人材育成の強化・推進

指標	目標値（2023年度）
指標9：スケート競技での合宿団体数（年間）	42団体
指標10：地域スポーツコミッションの設立	地域スポーツコミッションの設立
指標11：スポーツ少年団指導者登録者数に占める認定員有資格者の割合	70%

### 八戸市スポーツ推進計画

[発行日] 平成31年3月  
[作成] 八戸市  
[問合せ先] まちづくり文化スポーツ部 スポーツ振興課  
〒031-8686  
青森県八戸市内丸一丁目1番1号  
TEL 0178-43-2111 (代) FAX 0178-45-2077  
[ホームページ] <http://www.city.hachinohe.aomori.jp>